

Consumer-use Video Tape Recorder and
Realization of At-home Video Recording of Broadcast Programs

①

大型でかつ高価で放送業務用に限られていたビデオテープレコーダー（VTR）を、小型・軽量化して一般家庭でも手軽に使えるVTRをソニー(株)は相次いで開発・商品化し、家庭への普及を牽引しました。まず、回転2ヘッド、ヘリカルスキャン方式に加え、トランジスタの採用により小型化した世界初のトランジスタ式VTR「SV-201」を1961年に開発しました。さらに、1.5ヘッド方式でテープの幅が2インチのオープンリールを使用したオールトランジスタVTR「PV-100」を商品化しましたが、航空機への搭載など業務用に限られていました。このため、さらなる小型化をはかり、幅が2分の1インチのオープンテープを使用した、世界初のオールトランジスタVTR「CV-2000」を1965年に発売しました。テープをカセット化して、使い勝手をより良くしたUローディング方式によるU-matic方式のVTRも完成しました。これらの技術により本格的な家庭用VTRとして、Beta方式の1号機“ベータマックス”を1975年に発売しました。

“ベータマックス”を発売した翌年に、テレビ番組の製作・配給も行う米国の映画会社が、家庭におけるテレビ番組の録画は著作権侵害であるとして、ソニーを訴えました。これに対して、ビデオによる録画は放送番組をタイムシフトして視聴可能にするもので、複製ではないとのソニーの主張が受け入れられ、8年間にわたる「ベータマックス訴訟」に勝訴しました。この結果、家庭において録画が著作権侵害とならずに楽しめることとなり、VTRの実用的価値を大いに高めるとともに、VTRを一大産業に発展させる歴史的判決となりました。

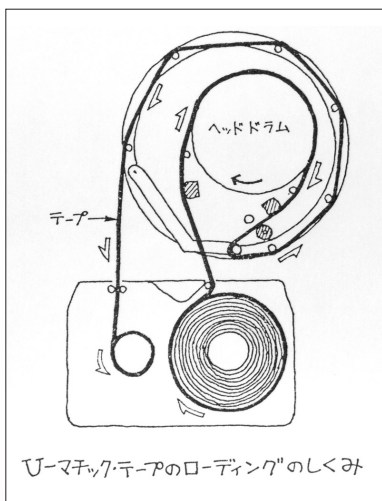
- ☆顕彰先 : ソニー株式会社
- ☆展示場所 : ソニー歴史資料館
〒141-0001 東京都品川区北品川6-6-39
- ☆ホームページ : <http://www.sony.co.jp/museum/>
- ☆アクセス（最寄駅）: JR品川駅より徒歩15分



②



③



④



⑤

(写真提供：ソニー株式会社)

- ① 世界初のオールトランジスタ式家庭用ビデオテープレコーダー「CV-2000」
- ② 業務用オールトランジスタビデオテープレコーダー「PV-100」
- ③ 「CV-2000」学校で使用
- ④ ビデオカセットテープの“Uローディング”方式のしくみ
- ⑤ ベータマックス「SL-6300」